

図書館&がん相談支援センター連携ワークショップ 第2弾in大分
『いつでも、どこでも、だれでもが
がんの情報を得られる地域づくりの第一歩』

知る、見せる、伝える ～地域で作るがん情報発信～

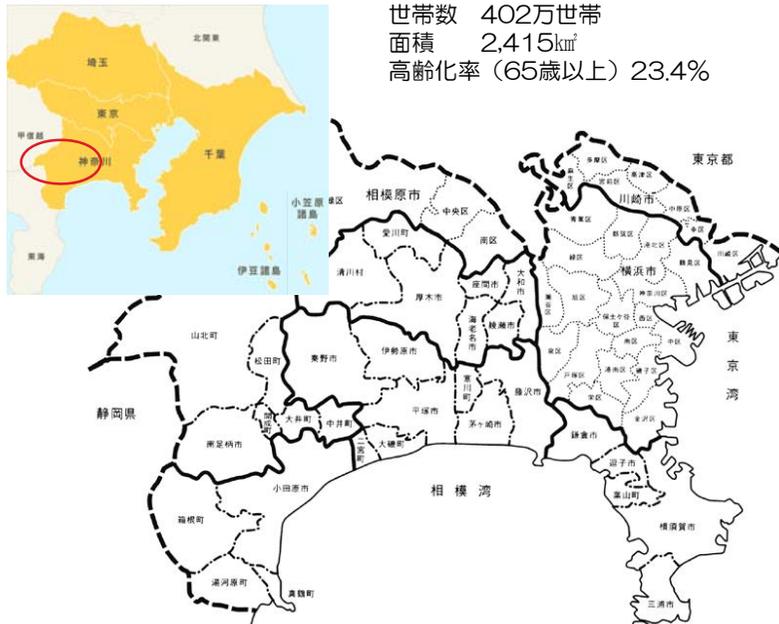
図書館と医療福祉の連携プロジェクト
逗子市チーム
井元有里（逗子市立図書館）
勝呂加奈子（神奈川県立がんセンター）

本日のお話

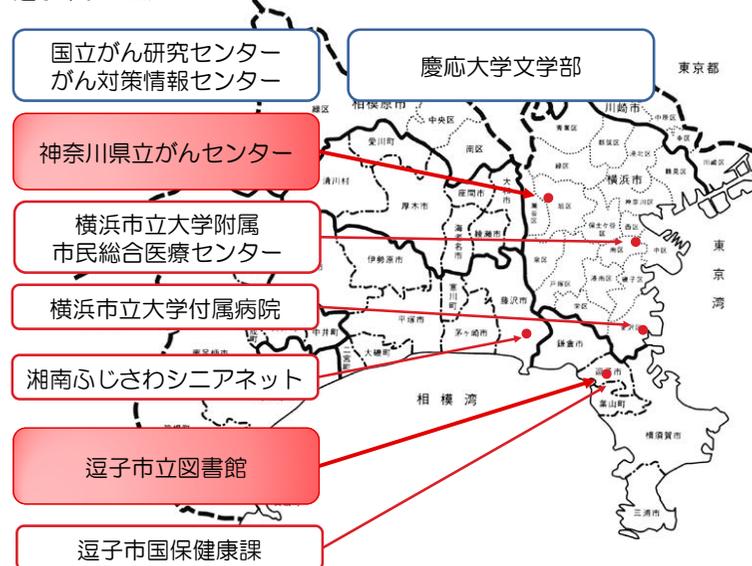
- 連携プロジェクト「逗子市チーム」のご紹介
 - ・ 逗子市立図書館
 - ・ 神奈川県立がんセンター
- 連携プロジェクト3年間の活動
- 事業を通しての変化
- 今後の展望・課題

神奈川県

人口 915万人
世帯数 402万世帯
面積 2,415km²
高齢化率（65歳以上）23.4%



<逗子市チーム>



神奈川県逗子市

人口 56,444人
面積 17.34km²
高齢化率 30.95%

海に面して3方は山
市内2路線・4駅

コンパクトなまち

小学校6校（市立5校）、中学校5校（市立3校）、高校4校（公立2校）
財政規模 一般会計歳入総額 約192億円（うち市税48%）
総合病院 なし（病院2院（36床）、診療所66院）



地図：逗子市商工会HPより

逗子市立図書館



本館（複合施設）および2分室
蔵書数 23万冊
年間個人貸出冊数 52.2万冊

2階 健康・医療情報コーナー



図書 2083冊
参考図書 113冊
新聞記事
パンフレット

闘病記・医療手記



- がん
- 1 乳がん
- 1-2 乳がん・卵巣がん
- 1-3 乳がん 疾病
- 1-4 乳がん
- 2 子宮頸がん 1 ADA欠損症
- 3 子宮体がん 2 アトピー性皮膚炎
- 4 卵巣がん 3 アレルギー
- 4-1 卵巣がん 院内感染
- 5 睾丸がん 5 エイズ（後天性免疫不全症候群）
- 6 前立腺がん 6 円形脱毛症
- 7 甲状腺がん 7 禿頭症
- 8 肺がん 8 化学物質過敏症
- 9 川崎病
- 10 肝炎
- 11 肝硬変

約780冊
（199の病名で分類）

1階 健康・医療展示、雑誌



毎月のテーマ展示
 ・季節に合わせて
 ・他課との連携

雑誌 4誌

神奈川県立がんセンターの概要

がん専門病院 都道府県がん診療連携拠点病院

許可病床数：415床

10病棟（HCU、緩和ケア病棟、無菌病棟を含む）

平均在院日数 12.1日(平成27年度)

病床利用率（稼働） 82.2%(平成27年度)

手術件数 3,429人／年

外来化学療法数 17,358人／年



平成27年度重粒子線治療棟 開棟



神奈川県立がんセンター

患者支援センター

病院内の情報コーナー



がん相談員による
 対面や電話でご相談



発行元や根拠が明確なリーフレットや書籍を
 中心に、患者会情報・患者向け院内催し・
 ウィッグなどのパンフレット・絵本
 などが自由に閲覧できる

がん相談支援センターとは？

全国に設置された、がんの相談窓口

「がん診療連携拠点病院」や「小児がん拠点病院」「地域がん診療病院」
 に設置されている

患者さんやご家族のほか、地域の方々はどなたでも
 無料で利用することができる（電話・対面相談）

- ・がんのことやがんの治療について、
 今後の療養や生活についての心配事など、
 がんにかかわる質問や相談ができる
- ・がんについて詳しい看護師、
 生活全般の相談ができるソーシャルワーカー
 などが相談にのっている



相談者にアクセスしてもらうことが課題！

図書館と医療福祉の連携プロジェクト 逗子チーム

- 2014年7月～発足！
- 最初から現在の形ではなく、徐々に関係者が増えてきた



普段は各施設の会議室で…

JST助成事業「がん情報普及のための医療・福祉・図書館の連携プロジェクト」

2014年度 医療講演会「胃がんとその遭遇～まさか私が！～」

横浜市立大学附属病院教授・
逗子市立図書館司書・逗子市国保健
健康課保健師・神奈川県立がん相談支
援センター看護師

4者による講演と出張がん相談



JST助成事業「がん情報普及のための医療・福祉・図書館の連携プロジェクト」

2015年度 ミニシアター 「がんとわかったとき やっておきたいいくつかのこと」 参加者 84名

映画上映
幕間ブックトーク
寸劇



3年目の活動に向けた模索・・・

2年目の寸劇は一般市民にはがん情報を伝えるには敷居が低くて親しみやすい内容だったが・・・

- 寸劇は準備や当日に担当者が集まるのが大変で、何度も実施できない
- もう少し汎用可能性が高い形を考えていきたい
- 堺市チームの写真紙芝居を参考にできないか
- ブックトークはぜひ入れたい



- ブックトーク&写真紙芝居！
- 図書館の名画座の後に上映できるのでは



2016年度 映像紙芝居 「あるあるカフェ&ミニミニブックトーク」の制作

短く編集した映像で
図書館・自治体行事等
様々な場での活用



実際に少しご覧ください

事業を通じて起こった変化

がん相談支援センター

- 一般市民へがん情報を伝える場や幅の広がり
- より当事者目線での情報提供

図書館

- 医療情報提供への安心感
- 自分たちにできること、やるべきことを知る

お互いの仕事や強みを知る

がん相談支援センターの強み

- ① エビデンス（根拠）の高い情報
- ② 個別の対応が可能

図書館の強み

- ① 本（物語）の蓄積
- ② 本と人をつなぐ司書
- ③ 間口の広さと低さ

逗子市立図書館 生と死を考えるコーナーの新設

約130冊
5テーマで分類
生命倫理
逝き方
看取り
終活
グリーフケア



<今後の展望・課題>

- 人と人のつながりを財産に
- がん情報の重要性を認識したうえで『楽しく』
- 実現可能なかたち（難しすぎない!）で他の地域にも波及してもらえたら…
- 昨年度の寸劇を活かせないか検討中
- 死生観をテーマに何かできるか??



ありがとうございました。